

〔国際会議〕

申 請 者	大阪大学 産業科学研究所 准教授 来村 徳信	2025004
研 究 集 会 名	第2回国際セマンティックテクノロジー合同会議 (JIST 2012)	
開 催 期 間	平成24年12月2日～12月4日	
開 催 場 所	奈良県新公会堂	
申請者の役割	国内運営委員長	

概 要：

本会議開催の目的は、ウェブなどの情報を「意味に基づいて知的処理」することを目指す「セマンティックテクノロジー」に関して議論する場を主にアジア地域に提供することで、学界と産業界における研究と応用を促進することでした。

実際に、本会議には26ヶ国から90本という多くの論文投稿があり、その中から厳密な論文査読の結果、一般論文：22本、In-Useトラック論文：7本、特別トラック論文：6本が採録されました。In-Useトラック論文は応用的技術を扱っている論文であり、特別トラックは今回初の試みとしてボトムアップ的にホットなテーマの提案を募ったもので、「Linked Dataの実践」などのホットトピックに関する論文が採録されました。本会議では、4つの招待講演、1つのチュートリアル講演に加えて、これらの論文が7つのセッションに分かれて、セマンティックウェブ、Linked Data、オントロジーなどの幅広いトピックについて熱心な議論が行われました。

会議には、計110名（一般：71名、学生：39名）の参加者があり、その内訳は日本国内から55名、海外16ヶ国から55名でした。アジア諸国に加えてヨーロッパ諸国からの参加者も多く、アジア内に加えて、アジアとヨーロッパの相互交流を促進する効果がありました。また、学界に加えて、産業界からも多くの参加がありました。

このように本会議は、計算機が「情報の意味」を捉えて人間と調和するために不可欠な情報科学技術の学術的理論と応用的技術の両方について有意義な議論と交流の場を提供することができたといえ、成功を収めたと言えます。